

1 はじめに

西条市では、平成 28 年 3 月に「史跡永納山城跡保存整備基本計画」を策定しました。今年度からこの基本計画に基づき、現地の保存・整備事業を実施しています。

本日は今年度実施した環境整備、発掘調査等の成果をご覧になっていただきます。

2 主な内容

- (1) 実施期間：環境整備 平成 28 年 5 月～平成 29 年 3 月
発掘調査 平成 28 年 11 月～平成 29 年 3 月
- (2) 実施場所：南西部ゾーン（史跡導入部）
南東部ゾーン（城壁を長区間にわたり、ラインとして把握できるような整備を目指すゾーン）
- (3) 主な内容：

ア 環境整備：①樹木の伐採（遺構に影響を与える木や景観を遮る木の計画的伐採）

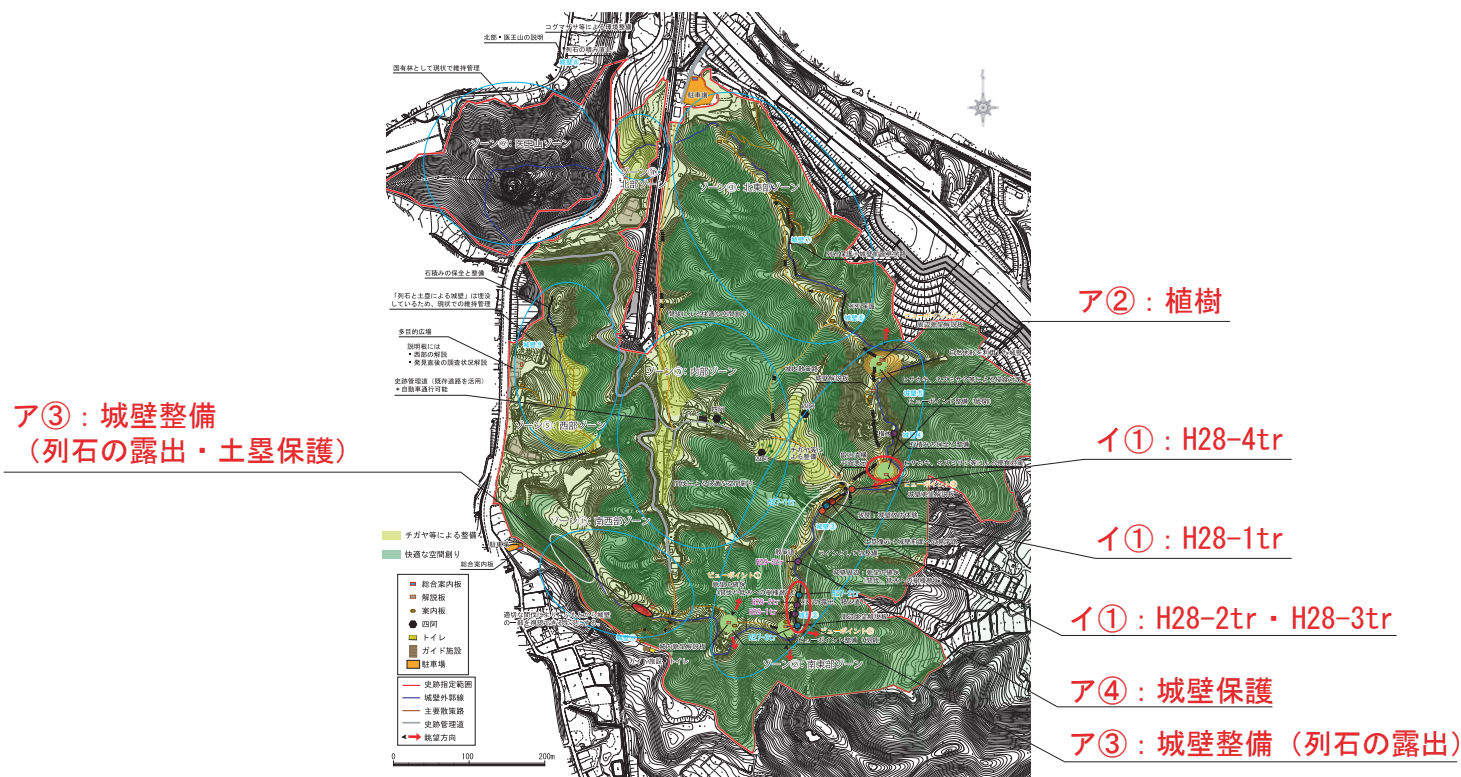
②植樹（東部頂上）

③城壁整備（南西部ゾーン・南東部ゾーン）

④崩落の危険性のある城壁の保護（南東部ゾーン）

⑤散策路整備

イ 発掘調査：①城壁復元候補地周辺の調査（南東部ゾーン）



永納山城跡地形図 (S=1/10000)

3 環境整備

(1) 植樹

史跡の侵食を防止するために、裸地化した地表面に植樹をしました。

樹種：ヒサカキ・ネズミサシ（永納山に自生し、裸地でも比較的根付きやすい）



苗は植樹日の午前中にボランティアの皆さんと採取しました。



植樹は公民館と協力して、永納山城跡の地元である河北地区の3小学校の6年生が行いました。

植樹風景（2月18日実施）

(2) 城壁整備

ア 南西部

史跡の導入部分として城壁を理解してもらえよう、列石の一部を露出させました。

また、土塁を保護するとともに、城壁として認識できるようにチガヤを植栽しました。



南西部城壁整備状況

イ 南東部

尾根に沿いながら巡らされる城壁をラインとして認識できるように、城壁周囲の樹木を伐採し、列石の一部を露出させました。



南東部城壁整備状況

(3) 崩落の危険性のある城壁の保護

列石を据えた地面が抉れてしまい、崩落の危険性のある場所に保護対策を行いました。



南東部城壁保護状況

4 発掘調査

昨年度に引き続き、南東部ゾーンで城壁整備に向けた情報を得るために発掘調査を行いました。

(1) H28-1 トレンチ

目的：土塁復元予定地で城壁の現状を確認するために、H23-1 トレンチ・H27-1 トレンチ間の土塁を調査しました。

結果：列石・土塁が良好に残存していることを確認しました。

今後は、この土塁をどのように保存しながら、公開できるようにするか、その工法を検討していきます。



H28-1トレンチ

(2) H28-2・3 トレンチ

目的：H27-1 トレンチ（昨年度調査）で途切れた土塁の評価を明らかにすること。

結果：列石・土塁は現存せず、急傾斜の岩盤を検出しました。また岩盤には、列石を据えるためのテラスや土塁を築くためのテラスは確認できませんでした。

このような状況から、H27-1 トレンチから南側に自然地形を利用した城壁となることが明らかになりました。



H28-2トレンチ



H28-3トレンチ

(3) H28-4 トレンチ

目的：土塁が良好に残存する H23-1 トレンチの北側の土塁の状況を確認すること。

結果：調査区の北側では、後世の流出を大きく受けているものの、良好な形で列石や土塁が残存していることを確認しました。



H28-4トレンチ



西条市では、本日見ていただいた保全活動や簡易な整備活動を、市民の皆さんと一緒に進めていきたいと考えています。興味・関心のある方は、ぜひご協力ください。